



# Weekly Report

RI 会長テーマ Engage Rotary Change Lives

クラブ会長テーマ 奉仕を通じて 友情を

## 第2167回例会

**日 時** : 平成25年11月27日

**会 場** : 例会場

**司 会** : SAA

小澤委員長

**開会点鐘**

村上会長

**斉 唱** : ロータリーソング「奉仕の理想」

村上会長

**お客様の紹介**

十河 靖晃様 読売新聞八王子支局 記者

原田 洋示様 東京国立白うめRC・どんど焼き実行委員長

東 一良様 " " 事務局長

**会長報告**

村上会長

●国際ロータリー年次大会 シドニーへのお誘い・

2750地区ガバナーナイト開催のお知らせ

\*シドニー国際大会

日時 2014年6月1日～4日

場所 シドニー・オリンピック・パーク

\*ガバナーナイト

日時 2014年6月1日

場所 スターシップ・シドニー

申込 1/31まで 詳細は掲示板をご覧ください

**幹事報告**

山崎幹事

●12月のロータリーレートは1ドル100円です

**第37回 塞の神どんど焼き実行委員会よりご挨拶**

1月12日が準備で13日に開催いたします。国立RCにはどんど焼きの諸先輩方がたくさんいらっしゃいまして、私どもは何もわかりません、今回も皆様方のお力添えとご協力をお願いいたします。



## ニコニコBOX

北島親睦活動副委員長

●原田洋示様・東一良様 第37回どんど焼きは平成26年1月12日に準備で13日に行われます。皆様の御協力・御支援をよろしくお願いいたします。

●村上会長 本日から3回公開卓話例会となります。プログラム委員会とSAA委員会の皆さん宜しくお願ひ致します。本日の卓話講師の十河靖晃先生の話を楽しみに聞かせて頂きます。本日の午前0時を持ちまして立川警察管内の交通事故1年間ゼロが達成しました。快挙です！

●山崎幹事 初めての企画、公開卓話十河靖晃氏の話し楽しみです。

●津戸会員 本日の久しぶりの公開例会の卓話、十河先生の卓話楽しみにしています。今日は三の酉です。小さな熊手ですが大きな福をかき集めて下さい。

●五十嵐会員 本日の講師十河靖晃氏のご来会歓迎申し上げます。又、ご講演を感謝申し上げます。

●杉田会員・本間会員・岡田会員 読売新聞記者、十河靖晃様のご来会ありがとうございます。卓話の拝聴、楽しみにしております。

●秋廣会員 読売新聞記者、十河靖晃さんの卓話大いに期待し楽しみにしております。妻康子も拝聴する予定です。又、妻の誕生祝いのワイングラス有難うございます。

●小澤谷守会員 卓話講師十河様のご来会ありがとうございます。又、本日は私がRCに入会して初めての公開卓話でございます。多くのお客様にご参加いただけるそうで喜連プログラム委員長には、新しい試みで素晴らしいと思います。

●喜連紘子会員 十河様、お忙しい中ようこそお越し下さいました。本日の卓話、楽しみにしております。

●佐伯有行会員 お元気で御活躍の御様子、何よりです



R.I. 第2750地区 多摩中グループ  
東京国立ロータリークラブ

会 長 : 村上隆秀 幹 事 : 山崎義晴

例 会 日 : 毎週水曜日 例 会 場 : 谷保天満宮社務所2階 東京都国立市谷保5209 TEL042-576-5123

事 務 所 : 東京都国立市中1-9-36 KKビル4F TEL: 042-575-0770 FAX: 042-572-8666

E-mail : kunitachi-rc@sage.ocn.ne.jp

U R L : http://kunitachi-rc.com/

会報委員 : 関重寿・遠藤直孝・齊藤博人・富田 聡

今日の卓話楽しみにしています。

●小澤崇文会員・北島会員 本日の講師十河靖晃氏の御来会を歓迎いたします。原田どんど焼き実行委員長・東事務局長の御来会歓迎いたします。一層の御活躍期待しております。当日雪が降りませんようお祈りいたします。

●北島会員 遅れましたが、妻・緑のお誕生祝いありがとうございました。昨日、新宿区四谷区民ホールでの奉仕プロジェクト情報交換会におきまして、村上会長・山崎幹事・遠藤常臣会員・千葉会員の御参加ありがとうございます。無事、地区奉仕プロジェクト委員の役割を果た

せました。

●山崎会員・遠藤常臣会員・北島会員 11月19日秋晴れの下、第2回ゴルフ同好会役員杯が開かれました。お疲れ様でした。第1位山崎・第2位北島・第3位遠藤(常)が入賞いたしました。

ニコニコBOX 合計 39,000円 累計 547,000円

### 出席報告

秋山出席委員

11月27日 在籍47名中 出席38名

前々回(11月13日)の出席率 94.73%

### 閉会点鐘

村上会長

## 卓話



読売新聞八王子支局 記者  
十河 靖 晃 氏

### 講師紹介

喜連(紘)プログラム委員長

十河さんは昭和59年9月岡山で生まれ、東京大学をご卒業、平成21年3月に東京大学大学院人文社会系研究科(日本史)を修了されました。その後、読売新聞に入社、立川支局を経て現在は八王子支局でご活躍なさっています。新聞社のお仕事の他にも吉川弘文館の吾妻鏡の現代語版の訳にも一部携わっておられて、多方面にご活躍されています。

### はじめに

今回は主に鎌倉時代(12~14世紀)や南北朝時代(14世紀)の歴史資料(史料)を基に、国立市周辺の武士についてお話しします。そして歴史を学ぶために不可欠な、史料保存の大切さを伝えたいと考えています。

### 訴訟大国と権利文書 「立川文書」とあの地名

鎌倉時代など比較的早い時代の古文書は、土地の権利を証明する文書が大半です。「一所懸命」と言われるように、土地は武士の生活基盤です。一方、当時は訴訟が盛んで、土地の争いは幕府や朝廷の裁判を受けました。そのため、証拠となる文書が大切にされ、現代まで残ったのです。現・立川市を拠点とした立川氏に伝わった文書も、やはり土地関係が中心です。元徳2年(1330年)の文書には、土地の境界を示す語句として「満(ま)ま」が出てきます。国立市民になじみ深い、崖を示す「ママ」と解釈されますが、近辺ではかなり古い使用例と思われます。土地の権利を示す文書の形で、用語の使用例も伝わった訳です。

### 幕府を支えた荒ぶる武士たち

#### 「法然上人絵伝」と津戸為守 「男衾三郎絵詞」の坂東武士

津戸為守は、谷保天満宮を現在地に移したとされる鎌倉幕府御家人ですが、当時の史料が乏しく、生涯や業績ははっきりしません。「国立市史」では、「大胆な類推」と断って仮説を立てていますが、史料がないと、どうしても曖昧な点が多くなります。浄土宗の開祖・法然を描いた鎌倉時代の「法然上人絵伝」では、弟子の一人として登場した為守の生涯も、詳細に記されています。同時代史料で裏付けできませんが、「あ



▲公開卓話にご参加いただいた方々

る程度事実に基づいて脚色された物語」として読む分には、為守の人物像や武士のメンタリティーを知る参考になります。為守は、釈迦や法然と同じ80歳で自分も死にたいと考え、切腹して、内臓を捨ててしまったそうです。往生できたのは50日以上経ってから。為守の篤い信仰心や、坂東武士の強靱な体力、精神力を象徴しているように思います。為守と同時代の武士を描いた鎌倉時代の「男衾三郎絵詞」には、「馬庭のすゝになまくびたやすな」とうそぶく、坂東武士が登場します。為守はワイルドな業界に生きていました。

### 下級武士はつらいよ 「高幡不動胎内文書」と山内経之

全国的にも珍しい例ですが、下級武士の実態を伝える史料が、日野市の高幡不動尊にある不動明王像の内部から見つかっています。無名だった下級武士・山内経之が家族に宛てた私信です。なぜ残ったのかは分かっていません。南北朝時代の暦応2年(1339年)頃、経之は北朝方として、常陸国(茨城県)で南朝方と戦っていました。その戦地から妻に宛てた手紙で経之は「はやゝ御こひ(恋)しくこそ候へ」と、率直に漏らしています。そのほか、続々と家来が逃げ出していることや、食料が足りないことを頻りに書き送っており、「今度の合戦では、生き延びられると思えない」と悲壮な覚悟を記した手紙もあります。

想像されていた下級武士の苦難が、生の声を記した史料によって裏付けられたのは、非常に意義深いことでした。殺戮に明け暮れる血も涙もない武士ではなく、戦争の中で苦しみ、家族を恋しがり、弱音も吐く、人間味のある姿がうかがえます。

### 史料の保存に向けて

以上述べた通り、歴史を知るには史料が不可欠です。そして私たちは、現在重要であるか否かにかかわらず幅広い史料を保存し、後世に伝えていく責任を負っています。防災対策も大切です。阪神・淡路大震災や東日本大震災では多数の史料が被害を受け、永遠に失われました。史料を伝えていく取り組みに、ご理解とご協力を賜ればありがたく思います。